

かえる倶楽部タイムズ

特集 「関西電力病院で高度放射線治療が可能となりました」

放射線治療は、病変に十分な量の放射線を照射することでがんを治癒させたり、症状をとったりするがん治療の重要なツールです。

この治療のキーポイントは、周囲の正常臓器への線量を安全な範囲にとどめて、病変部へどれだけの放射線が照射できるかにあります。

放射線治療の進歩は急速で、これまで夢であった治療が可能になってきている一方、装置が高額なため、機器の更新がその進歩に追いついていない施設もたくさんあります。

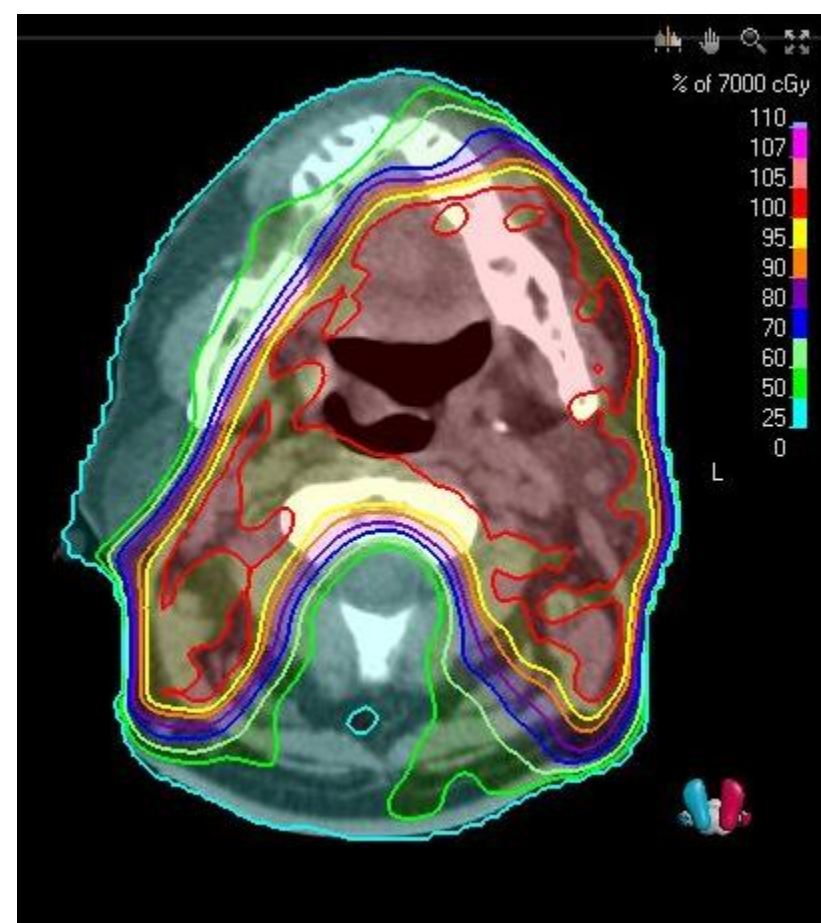
関西電力病院では、これまでも高性能な装置を保有していましたが、放射線治療専門医が1名しか在職していなかったため、保険制度上、装置の性能を十分に活かす治療が施行できておりませんでした。

2023年11月に放射線治療専門医を1名増員し、2名体制としたことにより、放射線治療装置(リニアック)の性能を十分活かす治療が可能となり、さらに放射線治療の精度管理に必要な周辺機器を整備したことにより、これまでできなかった下記の高精度治療が2024年4月から自由自在に行えるようになりました。



リニアック(高精度放射線治療システム)

強度変調放射線治療 (種々の癌の根治治療 照射範囲内に病変がすべて含まれること)
原発性肺癌の定位照射
脳転移への定位照射 (単数 複数)
オリゴ (数の少ない) 転移への寛解を目指す定位照射
5個までリンパ節 3個までの肺転移 3個までの肝転移
5cm以下の脊椎転移への定位照射 (通常 外来で2回)
腎癌への定位照射
膵癌への定位照射



強度変調放射線治療(IMRT)の線量分布

装置のプロバイダーから提供された画像を用いてシミュレーションしたもの。放射線を照射したくない部分を避けて病変部へ放射線治療ができています。

以上のことから、

1. 副作用を少なくしたがんの根治治療
2. 従来治療できなかったオリゴ転移(数の少ない転移)に対する再度寛解を目指す治療
3. 短期間で効果が期待できる対症治療を外来で施行
4. 症例によっては外来日帰りでの対症治療

が可能となりましたので、各施設様のご期待、ご要望にお応えできると思います。

適応がありそうな患者さまがおられましたら、是非ご相談ください。

関西電力病院
 放射線治療科
 部長 笹井 啓資



京都大学大学院医学博士
 日本医学放射線学会 放射線科専門医
 日本放射線腫瘍学会/日本医学放射線学会 放射線治療専門医
 日本医学放射線学会 研修指導医
 日本がん治療認定機構 がん治療認定医
 第1種放射線取扱主任者
 順天堂大学名誉教授

関西電力病院
 放射線治療科
 部長 熱田 智子

日本医学放射線学会 放射線科専門医
 日本放射線腫瘍学会/日本医学放射線学会
 放射線治療専門医
 日本医学放射線学会 研修指導医
 日本がん治療認定機構 がん治療認定医

【連絡先】 地域医療連携室
 平日 8:30~17:00
 土曜日 8:30~12:00
 (電話)06-7501-1406
 (FAX)06-6458-0347

上記以外の時間帯は、
 代表電話 06-6458-5821
 へご連絡下さい。